

広報みはま



桜の開花とともに新学期がスタート！

主な記事

- 平成21年度予算 P2～
- 議会ニュース P6～
- 若狭国吉城歴史資料館完成 P9
- 国道27号美浜東バイパス開通 P9
- 全国ほんもの体験フォーラムinふくい P10～

May.2009

5

No.460

平成 21 年度予算

町の会計は、一般会計・特別会計・企業会計に分かれています。

一般会計は、町の事務や事業、施設の管理運営など、町の基本的な業務に使われる会計のことです。

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区別して経理する必要がある会計のことで、町には 8 つの特別会計があります。

また、企業会計は、一般の民間企業と同様の会計方式をとるもので、上水道事業会計があります。

今月号では、3月の第1回美浜町議会定例会で可決された平成21年度予算の主な内容をお知らせします。

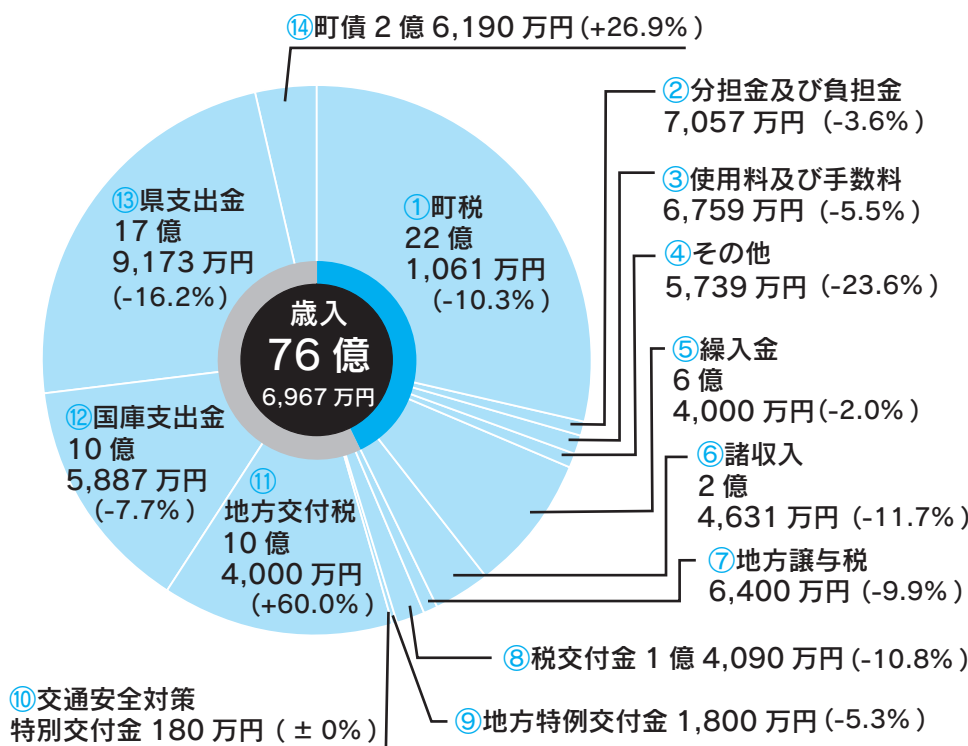
※実際の予算額は千円単位ですが、分かりやすくするため万円単位で表示しています。

一般会計

歳入歳出ともに、76億6,967万円で前年度と比較して3億3,940万円(-4.2%)の減となりました。これは、あおなみ保育園、若狭国吉城歴史資料館の整備が終了したことにより減となったものです。

歳入

※()は対前年比



自主財源は全体の約 4 割

歳入は、町税や使用料など地方公共団体が自主的に収入することができる財源「自主財源」と、国や県から交付される財源「依存財源」に分けられます。

この自主財源が全体予算の占める割合が大きいほど、行政活動の自主性と安定性が確保できます。

美浜町の自主財源は、42.9%と全体の半分を下回り財政基盤が弱くなってきているため、今後も行財政改革の推進を図っていかねばなりません。

自主財源 (42.9%)

依存財源 (57.1%)

歳入

用語説明

① 町税：町民税、固定資産税、軽自動車税など、町に納められるお金

② 分担金及び負担金：一定の事業により特別な利益を受ける者からその事業に要する経費の全部または一部を受益に応じて徴収するお金

③ 使用料及び手数料
使用料：総合体育館など、公の施設の使用料
手数料：税の証明や住民票などの交付に対する手数料

④ その他：財産収入、繰越金など

⑤ 繰入金：一般会計・特別会計・基金等の会計間で、相互に資金運用するお金

⑥ 諸収入：他の収入科目に含まれない収入をまとめた科目。延滞金や基金利子、雑入など

⑦ 地方譲与税：自動車重量譲与税、地方道路譲与税、地方揮発油譲与税

⑧ 税交付金：利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金

⑨ 地方特例交付金：児童手当の制度拡充に伴う地方負担の増加や、恒久的な減税に伴う地方税の減収の一部を補てんするために国から交付されるお金

⑩ 交通安全対策特別交付金：交通安全施設の整備、安全運転の確保、交通秩序の確立等一連の対策のために国から交付されるお金

⑪ 地方交付税：地方公共団体が一定の水準の業務ができるよう財政状況に応じて国から交付されるお金

▶▶ 特別会計・企業会計

各事業の特別会計及び上水道の企業会計は、次のとおり計上されました。

なお、前年度から大幅に減少した「老人医療事業」は、国の制度改正により「後期高齢者医療事業」へ移行しています。

会計区分		予算額 ※()は前年比
特別会計	診療所事業	1億6,337万円 (12.2%)
	国民健康保険事業	11億2,359万円 (-4.7%)
	老人医療事業	310万円 (-98.1%)
	後期高齢者医療事業	1億1,330万円 (-12.2%)
	簡易水道事業	1億7,925万円 (23.1%)
	集落排水処理事業	2億4,892万円 (-1.7%)
	公共下水道事業	6億8,250万円 (3.4%)
	介護保険事業	9億4,515万円 (-0.1%)
	合計	34億5,918万円 (-4.5%)
企業会計	上水道事業	3億4,164万円 (-9.1%)

歳出

※()は対前年比

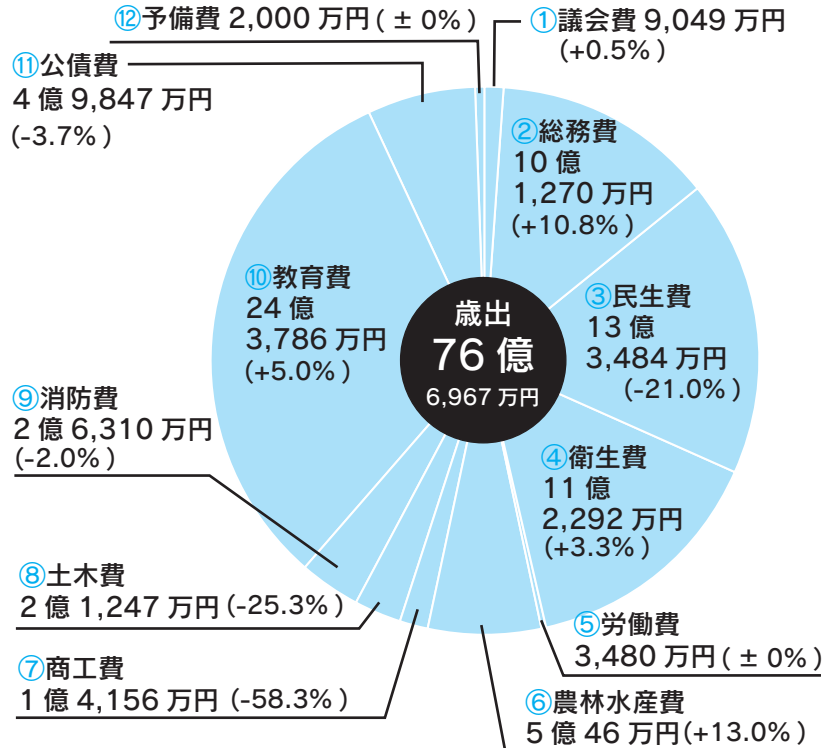
平成21年度に行う主な事業を紹介します。

○ソフト事業

事業名	金額
すくすく美浜っ子サポート事業 (事業の詳細は4・5ページ)	6,032万円
地域コミュニティバス運行事業	3,116万円
心身障害者(児)医療無料化対策事業	5,671万円
はあとふる体験推進事業	1,268万円

○ハード事業

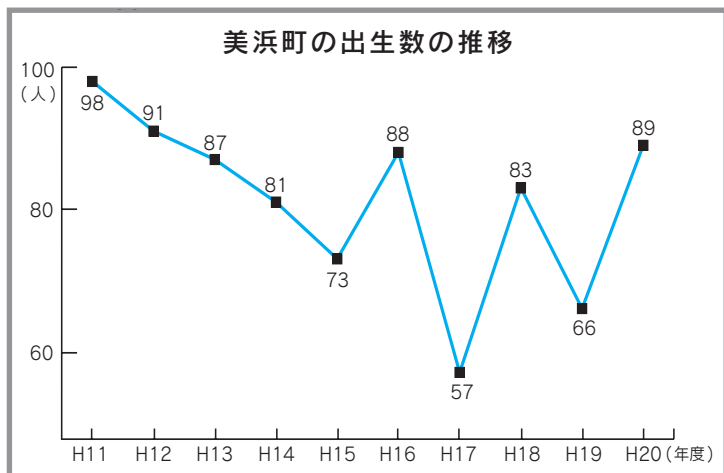
事業名	金額
中山間地域総合整備事業 (管浜地区農業用排水路、坂尻地区ため池、気山地区パイプラインの整備)	1億2,610万円
地方道路交付金事業 (舞鶴若狭自動車道に関連した工用道路の整備)	4,301万円
美浜中学校改築事業	17億361万円
生涯学習センター建設事業 (基本設計業務委託、基金積立)	6,833万円



- 歳出**
- ① 議会費：議会活動にかかる経費
 - ② 総務費：自治振興、広報、戸籍、統計、選挙などにかかる経費
 - ③ 民生費：児童福祉・障がい者への福祉サービスや老人福祉の増進、保育園や保健福祉センターの管理・運営にかかる経費
 - ④ 衛生費：保健衛生、ごみ処理など、衛生的な生活のためにかかる経費
 - ⑤ 労働費：労働者への貸付等にかかる経費
 - ⑥ 農林水産業費：農林水産業の施設整備・振興や農業委員会の運営に係る経費
 - ⑦ 商工費：中小企業の振興育成・雇用促進、観光振興にかかる経費
 - ⑧ 土木費：道路・橋・河川・町営住宅の管理や都市計画にかかる経費
 - ⑨ 消防費：消防署や水防・防災対策にかかる経費
 - ⑩ 教育費：小中学校の管理・運営、増改築や総合体育館等の管理運営、社会教育、学校給食にかかる経費
 - ⑪ 公債費：地方債の元金及び利子の支払いにかかる経費
 - ⑫ 予備費：予算編成で予期しなかった支出に対応するための経費
 - ⑬ 国庫支出金：国が公益性を認め、その事業を実施するために国から交付されるお金
 - ⑭ 県支出金：事業など特定の目的の財源として県から交付されるお金
 - ⑮ 町債：各種の事業を行うために町が借り入れるお金

▽すくすく美浜っ子サポート事業がスタート！

子どもたちの成長を願って



現 在、全国各地で少子化が社会問題となっており、本町も、その例外でなく、平成20年度の出生数は89人でした。過去10年間の出生数を見ると、平成17年度の57人が最低で、今後、少子化が進まないように安心して子どもを生み育てる環境の充実が求められています。

町民の皆さんのご意見を参考に子育て支援策を模索

町 では、これまで、子育てをされている方々や、町長に寄せられた「治太やんメール」、町長と町民の皆さんがまちづくりについて語り合う「ハートフル対話」などから得た意見や要望を参考に、子育てを充実する事業を模索してきました。

昨年の11月16日から20日にかけては、『心身障がい児(者)と親の会「杉の子会」・『美浜町地域活動連絡協議会(母親クラブ)』とのハートフル対話を開催し、今必要とされる子育て支援策について意見を伺いました。



↑子育てする参加者から活発な意見や要望が出された美浜町地域活動連絡協議会とのハートフル対話(グループ編)

インタビュー



美浜町地域活動連絡協議会(母親クラブ) 会長 村寄 朋子さん(佐田)

今回町が、たくさんの子育て支援事業を計画してくださったことに対し、心から感謝しています。本会員も、この手厚い支援内容をお聞きし、みんなびっくりしています。今後も、この事業を継続していただき、私たちも地域の宝である子どもたちを大切に育んでいきたいと思っています。

民生児童委員協議会では、これまで地域の方々と子育てに関する意見交換を行い、町へその意見を申し上げてまいりました。今回、町がその内容を反映した事業を計画してくださったことは大変喜ばしいことです。今後も、町とともに次世代を担う子どもたちの成長を支援していきたいと思っています。



民生児童委員協議会 会長 窪 清行さん(麻生)

町の子育て支援策

町では、深刻化する少子化の現状に歯止めをかけるべく、子育て世代の方々や団体等の意見を参考に、安心して子どもを生み育てるための環境を充実させるため「すくすく美浜っ子サポート事業」を創設しました。また、今後もこの事業を継続して進めていけるように、「すくすく美浜っ子サポート事業基金」を設け予算の確保に努めていきます。

赤ちゃんから18歳までの次世代を担う子どもたちを幅広くサポートする主な事業は、次のとおりです。

新規



にこにこ育児応援事業

子育て家庭の経済的な負担を軽減するため、第2子以降で0歳から就学前の児童の保護者に対し、年額24,000円(月額2,000円)を交付します。

助成は、本年4月分から対象となる世帯へは、6月に申請書を送付します。

※お問い合わせ先 健康福祉課(☎32-6704)

新規



高校生通学定期券助成事業

6月1日から、美浜町に在住し高等学校に通う生徒の通学費の一部を助成します。助成額は、通学に要する公共交通機関(コミュニティバスを除く)の定期乗車券購入費の3分の1です。ただし、限度額は学割後の定期券1か月分あたり10,000円です。

※お問い合わせ先 学校教育課(☎32-6708)

新規



インフルエンザ予防接種助成事業

満1歳以上中学校就学前までの幼児・児童に対して、インフルエンザ予防接種に係る費用のうち、1人1回あたり1,000円を年度につき2回助成します。

対象者には、10月頃に助成券を発送します。

※お問い合わせ先 はあとびあ(☎32-3111)

新規

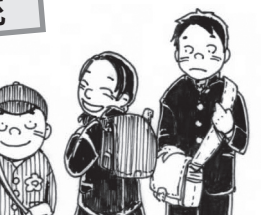


在宅障がい児等交流支援事業

日頃、外出が困難な障がい者児(身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者福祉手帳保持者)に、外出の機会を持ってもらい余暇活動を楽しんでいただくために交流の場を提供します。

※お問い合わせ先 健康福祉課(☎32-6704)

拡充



子ども医療費助成事業

これまで、就学前児童に対し実施していた医療費助成を、中学校3年生(満15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童)までに拡充します。助成の実施は、6月1日診療分からで、対象者にはすでに申請手続き等の案内が送付されています。

※お問い合わせ先 健康福祉課(☎32-6704)

拡充



不妊治療費助成事業

これまで、夫婦1組に対し年1回保険診療適用外の検査費及び診療費の2分の1(限度額10万円)を2年間助成していましたが、今年度から、回数・年数の制限をなくし年度あたり30万円に拡充します。本事業を希望する方は、はあとびあへご連絡をお願いします。

※お問い合わせ先 はあとびあ(☎32-3111)

継続



次世代育成支援行動計画策定事業

平成17年3月に策定した、子どもが生まれ成長する過程を総合的に支援するための「次世代育成支援行動計画」を見直します。

期間は、平成22年度から平成26年度とし、来年4月に公表します。

※お問い合わせ先 健康福祉課(☎32-6704)

平成21年 第1回 美浜町議会定例会

平成21年第1回美浜町議会定例会が3月9日から19日まで開会され、次の内容について審議・議決されました。

※実際の予算額は千円単位ですが、分かりやすくするため万円単位で表示しています。

●副議長選挙と議会運営委員会及び常任委員会の構成替えがありました。

▼議会構成表 (敬称略)

議長：中村 清一			副議長：倉田 愛子			
議員名	常任委員会		議会運営委員会	特別委員会		
	総務 文教	産業 厚生		原子力 発電所	公共 下水道 建設	美浜 中学校 建設
崎元良栄		☆		☆		
山口和治		☆	☆	☆	☆	☆
藤本悟	◎		○	☆	○	☆
兵庫賢一		◎			☆	☆
竹仲良廣	☆		☆	◎		◎
倉田愛子	☆					○
北村晋		☆		☆	☆	☆
金森恭	☆		☆			
前田義久	☆				◎	
中村清一		☆				☆
松田うめ子		☆			☆	
山口勝己	☆			○	☆	
樋下伸嗣		○	◎		☆	
辻健一郎	○		☆	☆		☆
飯田豊		☆				☆
塩野清	☆			☆	☆	
構成人員合計	8	8	6	8	9	9

◎…委員長 ○…副委員長 ☆…委員



副議長に倉田愛子氏(坂尻)が選出されました。

副議長：倉田 愛子氏

●平成21年度当初予算について下記のとおりとなりました。(詳細は2~5ページ)

会計	予算の総額
一般会計	76億6,967万円
診療所事業特別会計	1億6,337万円
国民健康保険事業特別会計	11億2,359万円
老人医療事業特別会計	310万円
後期高齢者医療事業特別会計	1億1,330万円
介護保険事業特別会計	9億4,515万円
簡易水道事業特別会計	1億7,925万円
集落排水処理事業特別会計	2億4,892万円
公共下水道事業特別会計	6億8,250万円
上水道事業企業会計	3億4,164万円

専決処分の承認

国の平成20年度第2次補正予算の成立に伴い、定額給付金及び子育て応援特別手当の速やかな給付に向け緊急に事務費を補正する必要が生じたものの、議会を招集する時間的余裕がなかったために専決処分されたものについて承認しました。

●平成20年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算にそれぞれ1,081万円が追加され、歳入歳出予算の総額がそれぞれ86億4,300万円になりました。

予算の款	補正額	増減	主な補正事由
総務費	1,061万円	増額	定額給付金支給に係る職員手当・臨時雇用賃金・郵便料の増、定額給付システム導入委託料ほか
民生費	20万円	増額	職員手当及び郵便料の増ほか
合計	1,081万円	増額	